
大ヒットアニメ映画「君の名は。」の影響も？ 草食化・恋愛離れといわれる若者も実は恋愛している！ 交際経験がある新成人は 59.0% 結婚への意欲も 79.0%と昨年から大幅に伸長！

楽天グループの結婚相手紹介サービス会社、株式会社オーネット（本社：東京都世田谷区 代表取締役社長：森谷学）は、2017 年 1 月に成人式を迎える全国の独身男女 600 名を対象に、恋愛・結婚意識について調査を実施しました。本調査は今年で 22 回目になります。

2017 年 1 月に成人式を迎える若者たちは、1996 年 4 月 2 日から 1997 年 4 月 1 日に生まれた若者たちになります。彼らは「アムラー」や「たまごっち」、「ポケモン」の大流行のなかで誕生。いわゆる「失われた 20 年」の中で思春期を送っており、彼らが中学校の卒業を控えた 2011 年、東日本大震災が起こりました。一方でその後、2012 年からの第 2 次安倍内閣によってアベノミクスが始まり、株価が上昇し、徐々に景気が良くなっていく中で高校卒業や大学進学を迎えている世代でもあります。2008 年、小学校 6 年生のときにスマートフォンが日本に初上陸し大流行。スマートフォン以外のいわゆる「ガラケー」を使ったことがないという人も多数いるのがこの世代。スマホの普及とあわせてコミュニケーションツールとして定着した LINE が、彼らと青春時代を送った主なツールでした。

そんな新成人は、恋愛や結婚についてどのように考えているのでしょうか。今回の調査ではテーマを恋愛や結婚に絞り、SNS から同性愛に関することまで聞いてみました。

オーネットでは今後も日本の恋愛や結婚に関するさまざまな意識調査の実施を予定しています。

～主なトピックス～

■ 若者の草食化や恋愛離れが叫ばれるも、恋愛や結婚への意欲はともに増加傾向！
交際相手がいる男女は 12 年ぶりに 30%台に。結婚したい若者も年々増加。

■ 交際相手がいない若者の恋愛意欲も大幅に上昇。恋人がいなくても、恋愛したいと思う若者は 7 割以上！

■ 結婚したい若者も昨年より約 5%増加し、79.0%に。子どもも「2 人以上」が 9 割超。婚活の後押しが少子化の解決のカギ？

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

新成人の有名人

2017 年に新成人となる、1996 年（平成 8 年）4 月 2 日から 1997 年（平成 9 年）4 月 1 日生まれの主な有名人は以下の通り。（生年月日順）

【男性】

森永悠希（俳優：1996 年 6 月 29 日）	白井健三（体操：1996 年 8 月 24 日）
高杉真宙（俳優：1996 年 7 月 4 日）	佐藤勝利（歌手：1996 年 10 月 30 日）
渡邊剣（俳優：1996 年 7 月 16 日）	中尾暢樹（俳優、タレント：1996 年 11 月 27 日）
井手口陽介（サッカー：1996 年 8 月 23 日）	岡山智樹（俳優：1996 年 12 月 13 日）

【女性】

佐々木彩夏（歌手：1996 年 6 月 11 日）	高梨沙羅（スキージャンプ：1996 年 10 月 8 日）
加藤ジーナ（タレント：1996 年 7 月 18 日）	美山加恋（女優：1996 年 12 月 12 日）
松岡菜摘（歌手：1996 年 8 月 16 日）	真山りか（タレント：1996 年 12 月 16 日）
児玉遥（歌手：1996 年 9 月 19 日）	松井珠理奈（歌手：1997 年 3 月 8 日）

1996 年 4 月 2 日～1997 年 4 月 1 日の主なできごと

6 月 23 日 : 任天堂が NINTENDO64 を発売開始
7 月 20 日 : アトランタオリンピック開幕
9 月 17 日 : ロサンゼルス・ドジャースの野茂英雄が日本人初の大リーグでのノーヒットノーランを達成
11 月 23 日 : バンダイが携帯ゲーム機「たまごっち」を発売
4 月 1 日 : アニメ「ポケットモンスター」が放送開始

調査回答者のプロフィール

1996 年（平成 8 年）4 月 2 日から 1997 年（平成 9 年）4 月 1 日生まれまでの、
2017 年に新成人を迎える 600 人（男性 300 人、女性 300 人）

調査概要

この資料は、楽天グループの結婚相手紹介サービス会社、株式会社オーネット（本社：東京都世田谷区 代表取締役社長：森谷学）が、2017 年 1 月に成人式を迎える日本全国の独身男女 600 名（1996 年 4 月 2 日から 1997 年 4 月 1 日生まれ）を対象として、恋愛や結婚に関する意識について、2016 年 12 月に実施した調査結果をまとめたもので、今年で 22 回目となります。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井
TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

目次

2017 年新成人：恋愛の現状

- 実はみんな恋愛してる！これまでに交際経験がある新成人は **59.0%**。
- 現在交際相手がいる新成人は全体で **30.7%**。草食化や恋愛離れが進んでいると言われていたが、**2012 年から増加傾向**。
- 毎日会うことで恋も芽生える？交際相手との出会いのきっかけはやっぱり男女ともに学校が一番！学校外での出会いは、男性は「中学・高校時代の同級生」、女性は「アルバイト先・仕事先」が続く。
- 意外と女性も積極的？！交際相手がいる男性の 4 人に 1 人以上が女性からの告白を受けている！
- 「交際相手がいない」新成人の 7 割以上が「恋人がほしい」と回答。一番の理由は「一緒に時間を過ごす相手が欲しい」！「ときめきたい」というロマンチストな一面も。
- 「異性との交際を積極的にしていきたい」という意識が男女ともに増加！とくに女性に顕著。
- デート費用の割り勘は当たり前？！**女性の半数以上がデート費用割り勘派！** 昨年の **36.3%** から大幅増。
- 恋人への誕生日プレゼントは 5,000 円～10,000 円が多数派。一方で 5 人に 1 人の女性は 10,000 円以上のプレゼントを期待している！
- 「SNS と恋愛」については、**男女で意識の違いが浮き彫りに！** 女性は男性に比べてやや慎重派。
- 恋愛観の多様化でマイノリティ許容派多数！**半数以上の男女が世間一般の同性愛への抵抗なし**。自身の友人や知人の同性愛にはさらに寛容も、家族のこととなると少し敏感傾向。

2017 年新成人：結婚をどう考えている？

- 「結婚したい」新成人は **79.0%** で昨年から大幅増加。結婚したい理由は「好きな人と一緒にいたい」からが 1 位！
- 「結婚意向あり」の女性は **30 歳までに結婚したい！** さらに**早婚願望の女性が増加**。
- 新成人男性の約半数が結婚することにメリットを感じているが、一方で結婚に対する不安も。
- 新成人の 7 割は「結婚したら子どもがほしい」！さらにその 9 割が「**2 人以上ほしい**」！と、少子化とは逆の傾向！？
- 「家庭の経済基盤」に関する考え方について、**男女で大きな違いが！** 6 割以上の女性が「結婚するには女性の収入も重要な条件である」と回答。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

2017 年新成人：恋愛の現状

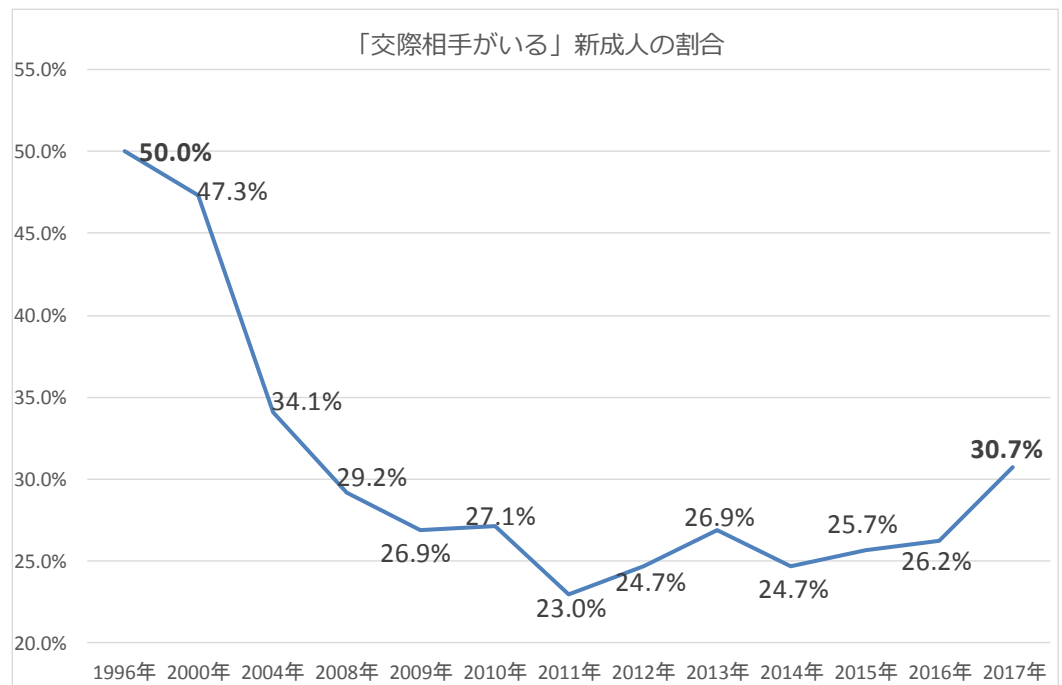
2017 年の新成人たちにイマドキの恋愛について聞いてみました。

■ 実はみんな恋愛してる！これまでに交際経験がある新成人は 59.0%

これまでに異性との交際経験があるかを聞いたところ、男性の 54.3%、女性の 63.7%が交際経験ありと回答。さらに片思いも含めた恋愛経験となると、**新成人全体の 81.3%が経験あり**と回答！実はみなさん、恋愛にドキドキした経験をお持ちなんですね。

■ 現在交際相手がいる新成人は 30.7%と昨年から大きく伸長。草食化や恋愛離れが進んでいると言われているが、2012 年から増加傾向に。

草食化や恋愛に消極的とばかり言われる若者世代ですが、「現在交際相手がいる」と答えた新成人は、2012 年以降、増加傾向にあり、**とくに今回の調査では 2008 年以來の高水準である 30.7%**となりました。今年はアベノミクスでの景気回復、『君の名は。』などに代表される恋愛コンテンツの流行など、さまざまな要因が若者の恋愛への意欲を高めたとも考えられます。



1996 年は 2 人に 1 人だった「交際相手がいる」割合は、その後急速に下降をたどり、草食化はそこから 2004 年の 34.1%を経て、リーマンショックが起きた 2008 年の 29.2%、さらに 2011 年の新成人では 23.0%にまで減少しました。しかし **2011 年 3 月の東北大地震をきっかけに、人とのつながりや絆を求める気持ちが高まったこともあり、2012 年からは増加傾向**となっています。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

■ 毎日会うことで恋も芽生える？ 交際相手との出会いのきっかけはやっぱり男女ともに学校が一番！
学校外での出会いは、男性は「中学・高校時代の同級生」、女性は「アルバイト先・仕事先」が続く。

今の交際相手と知り合ったきっかけ（男性）		
1位	学内（大学・専門学校）の知り合い	40.0%
2位	中学・高校時代の同級生	26.7%
3位	学外（サークル・趣味など）の知り合い	13.3%
4位	アルバイト先・仕事先	10.7%
5位	友達からの紹介	6.7%

今の交際相手と知り合ったきっかけ（女性）		
1位	学内（大学・専門学校）の知り合い	39.4%
2位	アルバイト先・仕事先	19.3%
3位	中学・高校時代の同級生	11.9%
4位	学外（サークル・趣味など）の知り合い	9.2%
5位	ネット（SNS）で知り合った	8.3%

現在学生、もしくは高校を卒業してそれぞれの道に進んでいる新成人たちは、一体どこで交際相手と出会っているのでしょうか。今、交際相手がいるという新成人に、その交際相手と出会ったきっかけを聞いてみました。やはり新成人のほとんどが学生ということもあり、「学内（大学・専門学校）の知り合い」が男女ともに1位の39.7%という結果になりました。「中学・高校時代の同級生」を加えると、新成人の恋愛カップルの半数以上が、学校で出会って交際を始めていることになります。

興味深いのは、学校以外で出会うきっかけに男女の差があることです。男性は「学外（サークル・趣味など）の知り合い」のポイントが高く、「中学・高校時代の同級生」に続いています。一方女性は、「アルバイト先・仕事先」で出会ったという女性は19.3%にのぼり、「中学・高校時代の同級生」よりも大幅に高いポイントとなっています。

男性は趣味やレジャーを楽しむなかで女性に好意を持ち、女性は男性の働く姿や優しく助けてくれる態度などに憧れをもつ傾向があるのでしょうか。「彼氏がほしい！」と思う女性は好みの男性がいそうなサークルや趣味の活動に飛び込むことで、彼氏ができる可能性もアップするかもしれません！男性はアルバイトに精を出してみるのもいいかも。

■ 意外と女性も積極的？！交際相手がいる男性の4人に1人以上が女性からの告白を受けている！

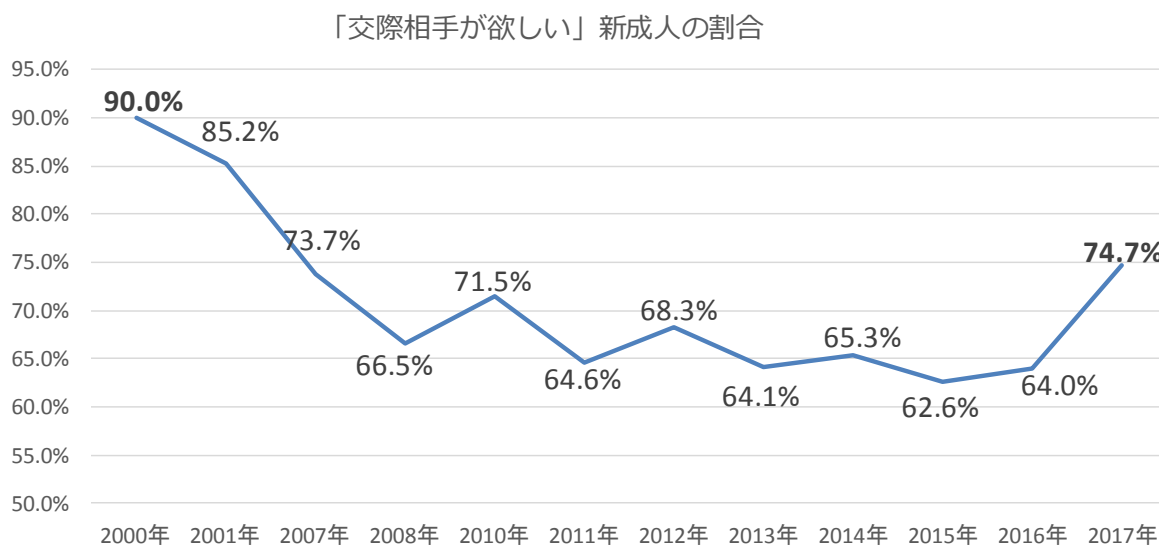
出会いの場はさまざまありましたが、具体的に「告白したのはどちらから？」と尋ねてみました。結果、男性の58.7%が自分からと回答。依然として男性から告白することが多いようです。一方で、相手、つまり女性から告白されたという男性も26.7%にのぼり、男性の4人に1人が告白されているということが明らかになりました。意外と女性も好きな男性には積極的に告白しているようです。やはりどんな相手からでも、好意を伝えられるというのは嬉しいもの。男性も女性も、勇気を出して告白してみることで、幸せが待っているかもしれません。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

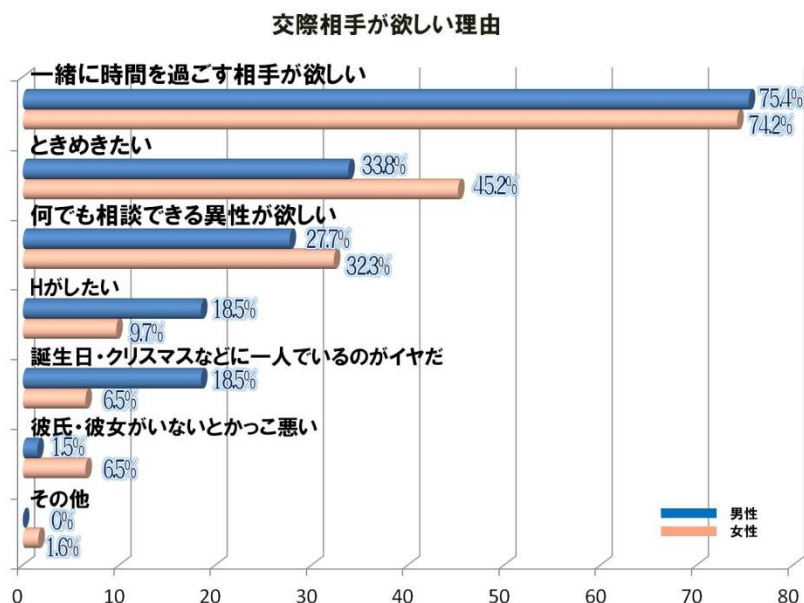
■「交際相手がおらず、交際相手がほしい」という新成人は全体の7割以上と急増！一番の理由は「一緒に時間を過ごす相手が欲しい」！「ときめきたい」というロマンチストな一面も。



昨年と比較し、大きな変化が見られたのがこちらの質問です。交際相手がいないと答えた方に「**交際相手をほしいと思いますか**」と質問したところ、なんと男女ともに昨年と比べて**10%以上増加**しています。

2000年には90%、ほぼ誰もが「交際相手がほしい」と答えていましたが、年を追うごとにその割合は減少。2013以降、「交際相手がほしい」という回答は交際相手のいない新成人の3分の2を割り込み、2015年には過去最低の62.6%まで減少してしまいました。ところが、昨年2016年より割合は増加に転じ、**今年は2007年以来の高水準である74.7%にまで上昇**しています。景気が回復し、「交際相手がいる」若者が増加。カップルが身近に多く誕生していることから、「自分も彼らのように幸せになりたい」と思うのかもしれません。

また、交際相手がほしい理由としては、「一緒に過ごす相手が欲しい」が男女ともにダントツ。何らかのさみしさを感じながら生きているのかもしれません。「ときめきたい」が2位に続き、少女マンガの映画化が続いた昨今、映画のような恋がしたいと思う男女が増えたのでしょうか。



【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

■ 「異性との交際を積極的にしていきたい」という意識が男女ともに増加！とくに女性に顕著。

「今の自分は異性との交際に積極的である」と感じている新成人は全体で 34.2%。とくに女性は昨年の 28.0%から 39.7%と大幅に積極的派が増加。

また、全体の 6 割以上が「交際相手をつくるには積極的な活動が必要」だと認識しており、そして実際に「今後は異性との交際を積極的にしたい」と考える新成人は昨年の 40.3%から 42.8%に増加。ここでも女性は昨年の 40.0%から 46.3%と伸びており、恋愛に積極的な女性が増えているようです。

「はい」の回答	全体	男性	女性
恋愛は人間として成長するために重要である	64.8	58.0	71.7
交際相手を作るにはどうしたら良いかを教えてくれる人がいない	41.7	48.3	35.0
異性と話すとき、緊張して話がでなくなる	29.7	34.0	25.3
自分は異性との交際に積極的である	34.2	28.7	39.7
今後は異性との交際を積極的にしたい	42.8	39.3	46.3
合コンやパーティには積極的に参加したい	17.3	18.7	16.0
交際相手と別れても友達として付き合える	34.2	34.3	34.0
交際相手には、追いかけるより追いかけてほしい	43.3	36.7	50.0
交際相手の浮気は許せない	50.8	45.7	56.0
交際相手ができたら親に紹介する	29.0	25.7	32.3
交際相手に束縛されたくない	59.7	57.3	62.0
交際相手になる人は結婚を想定して選びたい	45.7	43.7	47.7
同性の友人よりも異性の友人や恋人というほうが楽しい	22.7	21.7	23.7
好きな人ができたら自分から告白する	25.7	33.7	17.7
同世代の女性のほうが男性よりも恋愛に積極的だと思う	39.8	38.7	41.0
交際相手をつくるには積極的な活動が必要だ	62.2	57.7	66.7
告白して断られるのが恥ずかしい	53.8	51.7	56.0
今の友人関係が壊れるのが怖いので恋愛に移行できない	33.3	37.3	29.3
自分の好みにピッタリくる相手でないと恋愛できない	46.0	41.7	50.3
自分は恋愛感度が低いと思う	45.8	50.3	41.3
母数	600	300	300

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

■ デート費用の割り勘は当たり前？！女性の半数以上がデート費用割り勘派！昨年の 36.3%から大幅増。

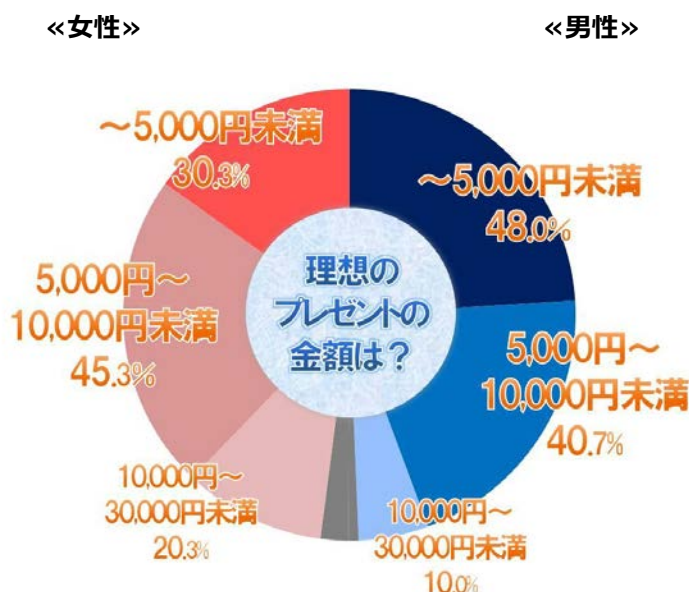
「デート代は男性が払って当然」そんな風潮はもう一昔前のものになったのかもしれませんが。普段のデート費用についての考えを調査したところ、**53.1%もの女性が、デート費用は「割り勘がよい」と回答。昨年の 36.3%を大きく上回りました。**

一方、「男性がすべてを払うのがよい」、「男性がやや多めに払うのがよい」を合計すると男性は 60.7%で女性の 45.3%を上回りました。**この結果からデートの費用については女性のほうが平等意識が強いことがわかり、「男性はこうあるべき！」という考えにとらわれているのは、実は男性のほうなのかもしれません。**

「はい」の回答	全体	男性	女性
デートの費用は割り勘が理想である	45.7	38.3	53.0
デートの費用は男性がすべて払うべきだと思う	13.2	17.0	9.3
デートの費用は男性がやや多めに払うべきだと思う	39.8	43.7	36.0
母数	600	300	300

■ 恋人への誕生日プレゼントは 5,000 円～10,000 円が多数派。一方で 5 人に 1 人の女性は 10,000 円以上のプレゼントを期待している！

それでは、プレゼントに関する考えはどうでしょうか。「恋人に誕生日プレゼントをあげるとしたら、いくらくらいのものがいいか」という質問では、「**5,000 円以上～10,000 円未満**」が男女ともに 1 位となり、**男性 44.7%、女性 46.7%**と大きな開きはありません。一方、注目すべきは、「恋人から誕生日プレゼントをもらうとしたら、いくらくらいのものがいいか」という質問では、「**10,000 円以上 30,000 円未満**」が**男性は 10.0%だったのに対し、女性は 20.3%**と**2 倍**だったことです。普段はフェアな付き合いでも、特別な日はやっぱりアクセサリーなどの少し良いものがほしいというのが乙女ゴコロというもののなのかもしれません。



【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

■ 「SNS と恋愛」については、男女で意識の違いが浮き彫りに！女性は男性に比べてやや慎重派。

「はい」の回答	全体	男性	女性
SNSなどで知り合った異性との恋愛はアリだと思う	37.3	40.7	34.0
恋愛のチャンスは恋人探しアプリよりもSNSのほうが多いと思う	35.3	34.0	36.7
リアルの人よりSNSなどの知人のほうが恋愛対象となりうる	10.8	13.7	8.0
好きになった人の情報をネットで検索したことがある	37.2	25.7	48.7
リアルよりSNSのほうが告白しやすい	29.0	30.3	27.7
SNSでの拡散が怖くて告白などには踏み出せない	27.7	26.7	28.7
SNSで知り合った異性と実際に会わずネット上だけで交際したことがある	9.3	11.0	7.7
SNSなどで知り合った異性ととり合うの恋人として交際したことがある	10.0	8.7	11.3
恋人との顔出し写真をSNSにアップすることは気にならない	25.3	20.7	30.0
SNSなどで知り合った異性との結婚は避けたい	37.8	28.7	47.0
別れた恋人とSNS上でもつながりをもっている気にならない	38.8	35.0	42.7
母数	600	300	300

2017 年の新成人といえば SNS ど真ん中世代！ということで、SNS に対する意識も調査しました。SNS とともに青春時代を過ごしてきた新成人、「SNS などでは知り合った異性との恋愛はアリだと思う」と回答したのは 37.3%、3 人に 1 人と意外と慎重派な一面がうかがえました。とくに女性は 34.0%と男性の 40.7%に対して大きく開きがありました。これは「SNS などでは知り合った異性との結婚は避けたい」という設問でも同様で、SNS と恋愛に対する男女の意識の違いが見て取れます。

逆に女性のほうが高いスコアが出たのが「好きになった人の情報をネットで検索したことがある」で、男性の 25.7%に対して、女性は 48.7%とほぼ 2 人に 1 人が経験あり！やはり気になってしまったら相手のことは些細なことでも知りたくなってしまうのでしょうか。

■ 恋愛観の多様化でマイノリティ許容派多数！半数以上の男女が世間一般の同性愛への抵抗なし。自身の友人や知人の同性愛にはさらに寛容であるも、家族のこととなると少し敏感傾向。

最近、同性愛をカミングアウトする著名人が増えてきていますが、新成人たちは同性愛についてどう感じているか聞いてみたところ、51.8%と半数以上が「世間一般の同性愛には抵抗がない」と偏見を持っていないことがわかりました。「自分の友人や知人に同性愛者がいても抵抗がない」と答えたのはさらに多く 57.3%。その一方で「自分の家族に同性愛者がいても抵抗がない」と答えた新成人はぐっと少なく、38.3%。著名人のカミングアウトやドラマ・漫画の影響で、同性愛者に抵抗がなくなりつつも、実際に家族が同性愛者となると身近すぎる存在からか、やはりすんなりと受け入れるというわけにもいかないようです。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

それでは、新成人自身は同性愛の経験はあるのか調査したところ、**全体の 1 割近くが同性を恋愛対象として好きになった経験がある**ことがわかりました。30 人のクラスに 2~3 人は同性のことを好きになったことがあるという計算になります。また、**同性と実際につきあった経験があるのはその半分の約 5%**。恋愛観が多様化するなか、思い切って想いを伝える若者が増えてきているのかもしれません。

「はい」の回答	全体	男性	女性
世間一般の同性愛には抵抗がない	51.8	42.0	61.7
自分の友人や知人に同性愛者がいても抵抗はない	57.3	50.0	64.7
自分の家族に同性愛者がいても抵抗はない	38.3	34.3	42.3
同性を恋愛対象として好きになったことがある	8.8	9.3	8.3
同性と付き合ったことがある、または現在付き合っている	5.0	5.7	4.3
母数	600	300	300

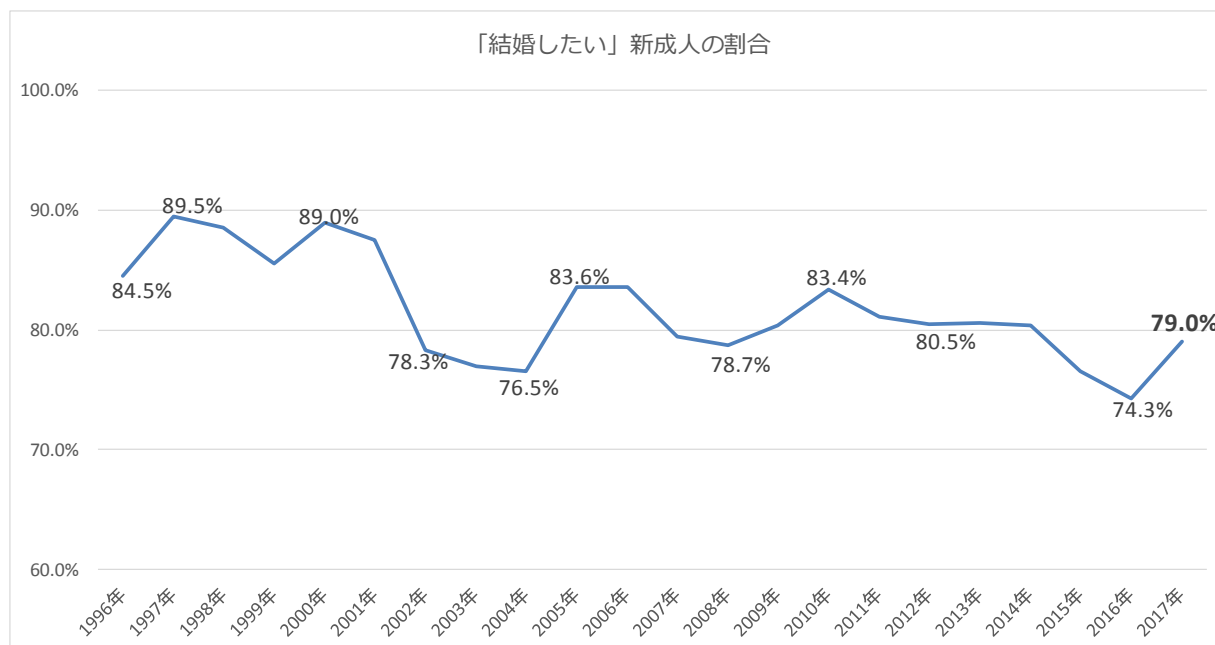
【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

2017 年新成人：結婚をどう考えている？

■「結婚したい」新成人は 79.0% で昨年から大幅増加。結婚したい理由は「好きな人と一緒にいたい」からが 1 位！

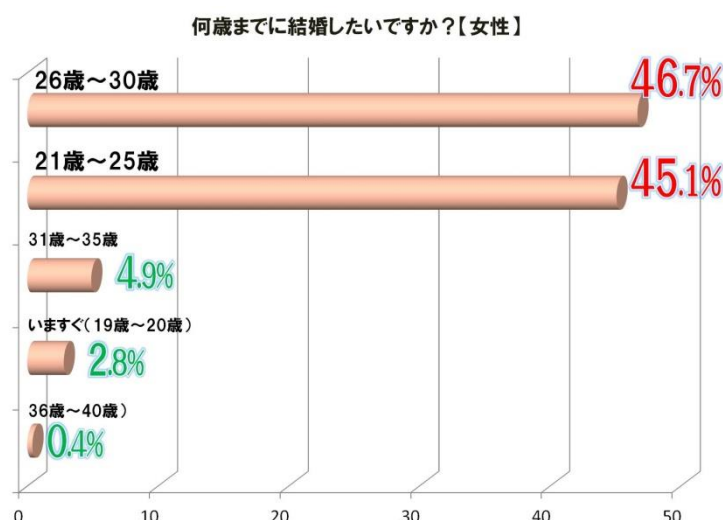


恋愛に関しては積極的な傾向に転じていることがわかりましたが、では結婚観はどうかになっているのでしょうか。

「将来、結婚したい」と思っている新成人は減少傾向にありましたが、今年も 3 年ぶりに増加となりました。その理由は、「好きな人と一緒にいたい」が 1 位に。そして男女ともに「子どもがほしい」「家族がいると幸せだと思う」という理由が続きます。やはり、好きな人との子どもを持ち、「家族」になるということは結婚の醍醐味ですので、そこを魅力に感じる新成人が多いようです。

■「結婚意向あり」の女性は 30 歳までに結婚したい！さらに早婚願望の女性が増加。

「結婚意向あり」の女性の 91.6% が 30 歳までに結婚したいと回答しており、さらに 45.1% は 25 歳までの結婚を希望しており、昨年の 39.7% から 5% 以上増加しています。



【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

■ 新成人男性の約半数が結婚することにメリットを感じているが、一方で結婚に対する不安も。

若い人たちから「結婚するメリットがわからない」という声が聞こえてくるようになっていますが、今回の調査では**新成人男性の約半数が「結婚することにメリットを感じている」**ことがわかりました。また「**周囲の知人や友人を見て、結婚はいいなと思う**」男性も**昨年の 29.0%から 38.0%に増加**。景気が回復し、心にゆとりが生まれることで幸せそうにみえる夫婦が増えたことで、「自分も！」と思う若者も増えたのでしょうか。

その一方で、**男女とも 6 割以上が「自分は結婚できないのではないかと考えることがある」**と答えており、幸せな結婚に憧れつつも、そこはかたない不安を抱えている姿が浮かび上がってきます。

「はい」の回答	全体	男性	女性
結婚するなら恋愛を経て結婚をしたい	77.8	73.3	82.3
恋愛と結婚は別だと思う	45.3	43.0	47.7
理想の条件に合う相手なら恋愛しないで結婚してもよい	21.2	21.3	21.0
結婚しても嫌になったら離婚すればよい	23.0	24.3	21.7
結婚しないと一人前とは言えないと思う	12.7	17.0	8.3
結婚することにメリットを感じる	59.0	49.7	68.3
自分は結婚できないのではないかと考えることがある	64.5	63.0	66.0
何よりも家庭を第一に考えたい	48.5	49.0	48.0
将来結婚しなくても暮らしてはいける	55.0	58.0	52.0
結婚後は専業主婦（主夫）になりたい	20.2	10.3	30.0
周囲の知人や友人を見て、結婚はいいなと思う	43.3	38.0	48.7
結婚をするには、“婚活”は当然だ	14.7	18.3	11.0
理想の相手でなくても結婚はありうる	51.0	45.3	56.7
今後結婚相手と出会う機会は、他人より少ないと思う	46.8	46.0	47.7
母数	600	300	300

■ 新成人の 7 割は「結婚したら子どもがほしい」！さらにその 9 割が「2人以上ほしい」！と、少子化とは逆の傾向！？

少子化が叫ばれる昨今、出生率の低さが問題になっていますが、**新成人男女の 69.7%が「結婚したら子どもがほしい」**と考えています。さらにそのなかで「1人」と答えたのは 8.1%に過ぎず、「2人」69.9%、「3人以上」22.0%と、**合計で 91.9%もの男女が「子どもは2人以上ほしい」**と考えていることがわかりました。ぜひ幸せな結婚をして、あたたかくてにぎやかな家庭を築いていただきたいですね。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL：03-5572-7354 / FAX：03-6674-2730 Email：o-net_pr@vectorinc.co.jp

■ **「家庭の経済基盤」に関する考え方について、男女で大きな違いが！6割以上の女性が「結婚するには女性の収入も重要な条件である」と回答。**

最後に「結婚とお金」について聞いてみたところ、男女で考え方に大きな違いがあることが分かりました。

「経済的な基盤がないと結婚できない」という質問には新成人男女の6割が「はい」と回答（男性 59.7%、女性 65.3%）。結婚の現実的な部分もきちんと意識をしていることが分かります。ところがその基盤の中身については男女で大きな違いがありました。

「家庭の経済基盤を支える責任は夫にある」に対して、男性の 50.7%が「はい」と答えたのに対して、女性の 42.7%は「いいえ」と答えており、さらに 66.3%の女性が「結婚するには女性の収入も重要な条件である」と考えています。女性の社会進出が当たり前になった現在では、経済的に男性に頼りたいがために結婚するという考え方は以前に比べて低くなり、**もはや共稼ぎは当たり前、結婚生活の経済的基盤は夫婦2人で支えていくもの、という女性側の意識の変化**が表れています。前述の「デート費用は割り勘」でもそうでしたが、女性に対して責任感を強く感じている男性と、お金については男女で平等に考えるのが自然という女性の意識の違いが伺えます。

男女で意識の違いはありますが、「2人で生活したほうが経済的に安定できる」という質問には、男性の 54.7%、女性の 65.3%が「はい」と答えており、経済的な面でも結婚は大切であるという点では、考え方が一致しているといえます。

～さいごに～

楽天オーネットでは、新成人の恋愛・結婚意識調査を 1996 年より実施してまいりました。20 年前には新成人の半数には交際相手がいるという状況でしたが、その割合は年々下降しており、近年では交際相手がいるのは 30%となっています。その結果だけを見ると、20 年前とくらべて草食化・恋愛離れが進んでいることは否めません。

しかし、明るい兆しが見え始めていることもまた事実です。アベノミクスで景気が上向きになり始め、目の前の就職の見通しもよくなり、漠然とではありますが未来への希望を持つことができ不安感が薄まったことで、恋をしたい・結婚をしたいなどの感情を後押しする結果につながったのかもしれませんが。

また、今年最大のヒット作となった映画「君の名は。」をはじめとするさまざまな恋愛コンテンツの登場が、恋愛に対する憧れを後押ししたと言えるのではないのでしょうか。

未婚化、晩婚化、それに伴う少子化は深刻な社会問題となっていますが、若年層が早期に結婚し家族を持つことは、その改善へとつながります。今回の調査結果は、結婚すること、家族を持つことに意欲のある若者がまだまだ大多数であることを示しています。

しかしながら子どもを持つことについては、保育園問題や育休問題などまだまだ社会的にむずかしい部分も多くあります。そのような問題をひとつひとつ解決していき、夫婦にとって子育てをしやすい環境が実現されることで、恋愛や結婚への意欲もより高まっていくのではないのでしょうか。その過程において、若年層に対する恋愛・結婚に向けたより一層の啓発・サポートを、当業界のみならず、私たち社会全体で真剣に考える時期に来ていると思われます。

当社では、若年層を取り巻くさまざまな課題を踏まえつつ、結婚を希望する多くの男女に、「出会いの機会」、「恋愛のサポート」を提供しております。今後も「結婚」、「家族」という幸せを 1 人でも多くの皆さまに実現していただけることを目指し、より良いサービスを提供してまいります。

はじまる恋愛、つながる結婚。
楽天オーネット

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL: 03-5572-7354 / FAX: 03-6674-2730 Email: o-net_pr@vectorinc.co.jp

－ 調 査 概 要 －

- 調査名：楽天オーネット『2017 年新成人の恋愛・結婚意識調査』
- 調査地域：全国
- 調査対象：1996 年（平成 8 年）4 月 2 日から 1997 年（平成 9 年）4 月 1 日生まれまでの、2017 年に新成人を迎える 600 人（男性 300 人、女性 300 人）
- 調査方法：インターネットを利用したクローズ調査
- 調査期間：2016 年 12 月 1 日(木)～12 月 5 日(月)
- 調査主体：株式会社オーネット
- サンプル数：600 人

※ 表記の無い場合の単位は%です。調査結果の数値は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計で 100%にならないことがあります。

※ 出版物・印刷物等、本資料をご使用になる場合には、株式会社オーネット PR 事務局宛ご連絡のうえ、**“結婚相手紹介サービス「楽天オーネット」調査”**と明記ください。

「ことぶき科学情報」バックナンバー 一覧

ことぶき科学情報 第 1 回発行は、VOL.1 1996 年 01 月「新成人の恋愛・結婚観／団塊ジュニアの意識調査」です。

ここでは、2010 年からのバックナンバーを紹介します。

VOL.53	2010 年 01 月	「2010 年新成人の恋愛・結婚意識」
VOL.54	2010 年 06 月	「適齢期の子どもを持つ母親 450 名の結婚親子関係に関する意識調査」
VOL.55	2010 年 10 月	「20～50 代 離婚経験を持つ女性全国 500 人の意識調査」
VOL.56	2011 年 01 月	「2011 年新成人の恋愛・結婚意識」
VOL.57	2011 年 06 月	「2011 年 20 代-40 代独身女性の意識調査」
VOL.58	2011 年 09 月	「2011 年 20 代-40 代独身男性の意識調査」
VOL.59	2012 年 01 月	「2012 年新成人の恋愛・結婚意識」
VOL.60	2012 年 07 月	「団塊ジュニア世代の親が子どもに望む結婚についての意識調査」
号外	2012 年 08 月	「独身女性が結婚相手に望む条件に関する意識調査：三平女子」
号外	2012 年 09 月	「独身男女の「結婚」「妊娠」「出産」に関する意識調査：任活」
号外	2012 年 10 月	「独身男性の交際経験と結婚願望に関する意識調査」
号外	2012 年 11 月	「独身男女のプロポーズに関する意識調査」
号外	2012 年 12 月	「九州地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
VOL.61	2013 年 01 月	「2013 年新成人の恋愛・結婚意識」
号外	2013 年 02 月	「東北九州地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2013 年 02 月	「20 代後半～30 代男性の結婚とプレゼントに関する意識調査」
号外	2013 年 03 月	「東海地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2013 年 05 月	「ホワイトデーのプレゼントに関する意識調査」
号外	2013 年 05 月	「近畿地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2013 年 05 月	「独身シニアの暮らしと出会いに関する意識調査」
婚活道場	2013 年 05 月	「独身女性とパワースポット」
VOL.62	2013 年 06 月	「オーネットで結ばれた会員が 10 万人を突破!!」
号外	2013 年 06 月	「中国地方の独身男女の結婚に関する意識調査」

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL：03-5572-7354 / FAX：03-6674-2730 Email：o-net_pr@vectorinc.co.jp

婚活道場	2013 年 07 月	「独身男性が好む女性のスタイル」
号外	2013 年 08 月	「甲信越地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2013 年 09 月	「首都圏の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2013 年 10 月	「独身中高年男女の結婚に関する意識調査」
号外	2013 年 11 月	「北関東の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2013 年 11 月	「四国地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
VOL.63	2014 年 01 月	「2014 年新成人の恋愛・結婚意識」
号外	2014 年 04 月	「北陸地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2014 年 06 月	「北海道地方の独身男女の結婚に関する意識調査」
号外	2014 年 09 月	「日本全国 47 都道府県の独身男女の結婚に関する意識調査 希望年収編」
号外	2014 年 10 月	「日本全国 47 都道府県の独身男女の結婚に関する意識調査 独身理由編」
号外	2014 年 11 月	「日本全国 47 都道府県の独身男女の結婚に関する意識調査 プレッシャー編」
号外	2014 年 12 月	「「バブル世代」と「ゆとり世代」それぞれ、クリスマスに対する意識調査」
VOL.64	2015 年 01 月	「2015 年新成人の恋愛・結婚意識」
VOL.65	2015 年 03 月	「2015 年 4 月に新社会人になる独身男女の、職場恋愛に関する意識調査」
号外	2015 年 04 月	「日本全国 47 都道府県の独身男女の結婚に関する意識調査 結婚相手に重視するもの編」
VOL.66	2015 年 05 月	「日本全国 25 歳～39 歳独身男女の、結婚式とジュンブライドに関する意識調査」
VOL.67	2015 年 06 月	「独身女性の好む男性の体型に関する意識調査」
VOL.68	2015 年 08 月	「男性の婚活 NG ファッション・NG グッズ」
号外	2015 年 09 月	「独身中高年の恋愛結婚に関する意識調査」
号外	2015 年 10 月	「あなたが夢中になった恋愛マンガに関する調査」
号外	2015 年 11 月	「ベストカップル総選挙 2015」調査結果
VOL.69	2016 年 01 月	「2016 年新成人の恋愛・結婚意識」
VOL.70	2016 年 02 月	「バレンタインデーの恋愛に関する意識調査」
VOL.71	2016 年 03 月	「遠距離恋愛に関する意識調査」
VOL.72	2016 年 04 月	「2016 年 4 月に新社会人になる独身男女の、職場恋愛に関する意識調査」
VOL.73	2016 年 05 月	「中高年世代のパートナーとの「ふたり旅」に関する意識調査」
VOL.74	2016 年 06 月	「音楽フェスと恋愛に関する意識調査」
VOL.75	2016 年 07 月	「結婚と子供に関する意識調査」
VOL.76	2016 年 08 月	「スポーツと恋愛に関する意識調査」
号外	2016 年 09 月	「独身中高年の恋愛結婚に関する意識調査」
VOL.77	2016 年 10 月	「結婚に関する意識調査」
号外	2016 年 11 月	「ベストカップル総選挙 2016」調査結果
VOL.78	2016 年 12 月	「夫婦関係に関する意識調査」
VOL.79	2016 年 01 月	「2017 年新成人の恋愛・結婚意識」

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット PR 事務局（ベクトル内） 担当：松下・平井

TEL：03-5572-7354 / FAX：03-6674-2730 Email：o-net_pr@vectorinc.co.jp